

# 白馬村民 Vol.08 フォーラム通信

2004/6/12発行

発行：  
白馬村民フォーラム（代表：渡辺俊夫）  
事務局&連絡先：  
白馬村民フォーラム実行委員会  
北城21852 / 尾川耕  
Tel:72-7460 Fax:72-7465  
e-mail:tagayasu@hakuba.jp

## ご報告

### 第7回フォーラムのテーマ 「市町村合併とは何か？」

～市町村（地方自治体）とは？自治とは？行政とは？住民とは？～

開催日時： 4月19日（月）/ 19:00～21:00  
場所： ふれあいセンター2F 「老人憩い室」  
参加人数： 5名（白馬村5名）

長野県北安曇地方事務所から総務課事務主幹企画振興係長伊藤敦さんを招き、長野県市町村「自律」支援プランと「未来への提言」コモンズからはじまる信州ルネッサンス革命についての話をいただいた後、限られた時間での真剣な論議をいたしました。

### ～提言～

「合併か」「自立か」を問うことは果たして正しい設問であろうか。合併すれば自律しなくても良い、即ち、何かにすがって自治体を運営し続けることができるのであろうか。また、そもそも、この問題は自治体（行政）が決めるものなのか。自治体とは、住民のためにあるものであり、住民自体がこの問いについて真剣に答える必要がある。

合併すれば大丈夫！  
ですか？

地域が地域らしくある  
というところこそ大事

地域にとって「大切なもの」は何かを常に自らに問い、その「大切なもの」を維持するためにはどのようなべきかを考え、そして行動することが地域に住まう者に求められる。自治体（行政）とは「大切なもの」の共通認識を持ち合わせる住民の活動を支援するために形成される。

### 地域が自ら考え行動する、国はこれを支援する

これは、平成15年12月、内閣に設置された地域再生本部決定の「地域再生促進のための基本指針」が求める地域再生の基本的な考え方である。  
平成12年4月より施行された地方分権一括法は、それまで上下関係にあった国と地方自治体の関係を変

え、また役割分担を明確にした。地方自治体は国の出先機関ではなく、「通達」といった国の関与もなくなり、国から都道府県、都道府県から市町村への権限移譲を行うとした。即ち、国も都道府県も市町村も対等の立場であり、補完し合うものとなりました。総じて市

町村の権限も拡充されましたが、それは地域の住民こそ自律に向けて先に立つて行かねばならないとされています。今こそ、住民自身の自覚こそ最も大事なのです。

### 提言の補足

今回、村が行った「合併意向調査」のアンケートを踏まえて「法定合併協議会」に移行したとしても、合併が決まった分けではありません。「合併する」「しない」に関わらず、多くの問題を解決しなければなりません。

### 今後のテーマ予定

- ・第9回テーマ「中心街・商店街を考える～集い・賑わい・触合い」を予定8月23日（月）人が集えるセンター的な場所が必要ではないでしょうか？みんなで考えましょう！
- ・第10回以降のテーマ 募集中!!（子育て、等）10月18日（偶数月第3月曜日開催）

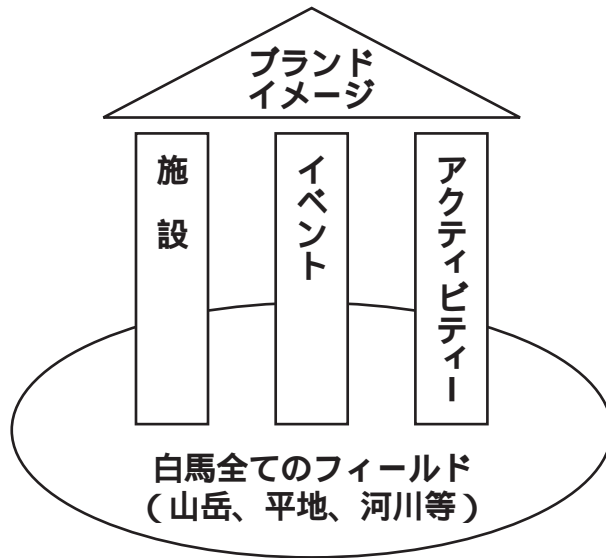
今回のみ  
1週ずれます

今までの提言は、村長を始めとして関係各所に対して行ってきましたが、今回の提言は白馬村に住む全ての人にお伝えしたいと思います。

ホームページ <http://www.tagayasu.com/hakuba-f/>

2004年4月19日  
白馬村民フォーラム  
代表 渡辺俊夫

## スポーツを取り巻く環境



### アクティビティ

登山ガイドやスキーインストラクターなど、スポーツの楽しみや技術を旅行者に教えるプログラム。(本来は文化的なものも含む)

スキー・スノーボードスクールをはじめ、ラフティング、MTB、パラグライダー等のスクール&ガイド事業社が30社程度村内にある。

### イベント

スキー・ジャンプ・スノーボードの国際大会から国内競技会。グリーンシーズンのスポーツイベントも多数開催されている。

経済効果(テレビ放映権やスポンサー費、イベント参加・関係者の宿泊費、飲食費、移動費等)と、社会文化効果(スポーツ振興や市民レベルの国際交流、人材育成とヒューマンネットワークの広がり、スポーツ文化の育成)がある。(「生涯スポーツとイベントの社会学」/山口泰雄著/創文企画 1996)

## スポーツ施設の収支

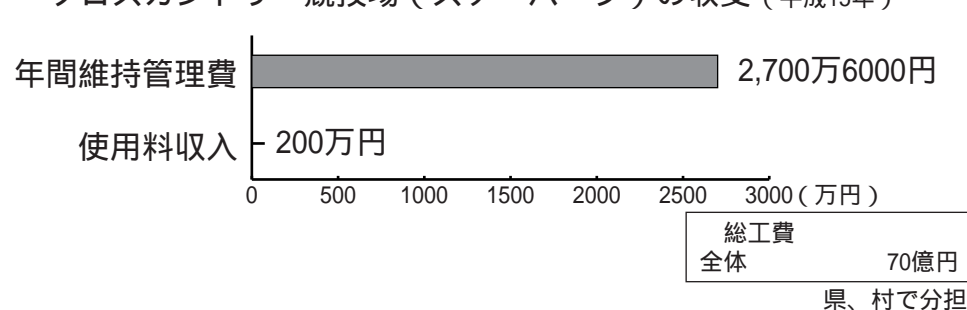
資料：白馬村民フォーラム調べ  
(白馬村スポーツ事業課データ)

スキージャンプ競技場の収支(平成15年)



フォーラム当日、さらに詳しい資料をお知らせいたします

クロスカントリー競技場(スノーハープ)の収支(平成15年)



## スポーツへのニーズ

SSFスポーツライフに関する調査2002より

### 今後行ってみたい運動・スポーツ種目一覧(全体、性別)

注)成人人口:100,649,429人(13年3月31日現在、住民基本台帳人口より)

順位	全体 (n=1126)	実施希望率 (%)	潜在人口 (万人)	男性 (n=542)	実施希望率 (%)	女性 (n=584)	実施希望率 (%)
1	水泳	23.7	2387	ゴルフ(コース)	29.5	水泳	30.8
2	ゴルフ(コース)	19.1	1922	野球	17.5	ウォーキング	20.2
3	ウォーキング	17.5	1761	水泳	16.1	テニス(硬式テニス)	18.8
4	テニス(硬式テニス)	16.3	1645	ウォーキング	14.6	バドミントン	11.5
5	野球	8.8	885	テニス(硬式テニス)	13.7	エアロビックダンス	10.4
6	スキー	7.9	796	サッカー	12.4	ゴルフ(コース)	9.4
6	卓球	7.9	796	釣り	10.7	卓球	9.2
8	バドミントン	7.1	715	スキー	9.8	バレーボール	8.6
9	ボウリング	6.7	670	ソフトボール	8.3	アクアエクササイズ	7.2
10	サッカー	6.4	644	ボウリング	7.6	体操(軽・体操・ラジオ体操など)	7.0
11	バレーボール	6.3	635	サイクリング	6.3	スキー	6.2
12	エアロビックダンス	5.9	590	ジョギング・マラソン	6.3	ボウリング	5.8
13	釣り	5.8	581	スノーボード	6.1	太極拳	4.8
14	スノーボード	4.9	492	登山	6.1	ヨガ	4.5
15	ソフトボール	4.8	483	卓球	5.5	ジョギング・マラソン	3.9
15	体操(軽・体操・ラジオ体操など)	4.8	483	ハイキング	4.6	スノーボード	3.8
17	登山	4.7	474	筋力トレーニング	4.1	バスケットボール	3.8
18	ジョギング・マラソン	4.6	465	バレーボール	3.9	ハイキング	3.6
19	ハイキング	4.1	411	スクーバダイビング	3.5	筋力トレーニング	3.4
20	アクアエクササイズ	4.0	402	バスケットボール	3.3	登山	3.4
20	サイクリング	4.0	402	ロードレース	3.1	グラウンドゴルフ	2.9
22	バスケットボール	3.6	358	グラウンドゴルフ	3.0	社交ダンス	2.9

### 種目別運動・スポーツ実施率(年代別)

順位	20歳代(n=368)	30歳代(n=363)	40歳代(n=397)	50歳代(n=439)	60歳代(n=385)	70歳代(n=315)
1	散歩(ぶらぶら歩き) 34.2%	散歩(ぶらぶら歩き) 32.5%	散歩(ぶらぶら歩き) 28.5%	散歩(ぶらぶら歩き) 33.5%	散歩(ぶらぶら歩き) 32.2%	散歩(ぶらぶら歩き) 24.8%
2	ボウリング 28.3%	ボウリング 21.5%	体操(軽・体操・ラジオ体操など) 18.1%	ウォーキング 23.2%	ウォーキング 23.6%	体操(軽・体操・ラジオ体操など) 12.1%
3	筋力トレーニング 18.8%	体操(軽・体操・ラジオ体操など) 20.9%	ボウリング 16.9%	ゴルフ(コース) 15.7%	体操(軽・体操・ラジオ体操など) 16.6%	ウォーキング 11.4%
4	スノーボード 17.4%	海水浴 16.8%	ウォーキング 15.4%	体操(軽・体操・ラジオ体操など) 15.5%	ハイキング 7.5%	グラウンドゴルフ 8.6%
5	海水浴 15.8%	キャッチボール 15.4%	ゴルフ(コース) 12.6%	ボウリング 14.1%	ゴルフ(コース) 6.5%	ゲートボール 7.6%
6	体操(軽・体操・ラジオ体操など) 13.3%	水泳 14.6%	釣り 11.6%	ゴルフ(練習場) 13.2%	グラウンドゴルフ 6.5%	水泳 3.2%
7	水泳 13.0%	ウォーキング 13.8%	水泳 11.3%	ハイキング 8.9%	登山 6.5%	釣り 3.2%
8	スキー 11.7%	釣り 13.8%	キャッチボール 11.3%	登山 7.1%	水泳 6.2%	サイクリング 3.2%

小さな文字(体操(軽・体操・ラジオ体操など))は...「体操軽い体操、ラジオ体操など」です